

健康 ♪ 外来ニュース

子宮頸がん

No. 68 令和6年12月15日

HPVワクチン

日本では小学校6年～高校1年相当の女子に公費で接種できますが、ワクチンの安全性が証明された現在でも接種率は20%程度と低く、接種率80%以上で子宮頸がんが激減した欧米に比べて出遅れています。

HPVに感染して生じる免疫では、細胞内に潜伏したHPVは排除できず持続感染(キャリア)化します。ですから、感染機会がある以前にワクチン接種して中和抗体を作っておいて、HPVが細胞に侵入しないようにする必要があります。2023年4月から強発がん性の16、18型を含む9つの型のHPVの感染を防止できる9価ワクチン(シルガード9)が使えるようになりました。年齢によって6か月間に2～3回接種します。

子宮頸がん

日本では毎年約11,000人が発症して、約2,900人(毎日約8人)が死亡しています。AYA世代女性のがん死亡は、1位乳がん、2位子宮頸がんです。子宮摘出や抗がん剤治療によって妊娠できなくなる人も毎年約1,000人います。原因は子宮の入口(頸部)へのヒトパピローマウイルス(HPV)の感染です。性交渉のある女性の85%が生涯に一度はHPVに感染するとされています。HPVはがん抑制遺伝子であるp53とpRBの働きを抑えて、がんを引き起こすと考えられます。

子宮がん検診は、20歳以上の女性が対象で、2年に1回受診が勧められています。子宮頸部を擦過して採取した細胞を顕微鏡で見て、異型細胞が見られた場合には、続いて細胞に含まれるHPVのDNA検査を行い、陽性ならさらに精密検査を行って治療方針を立てます。HPVの感染経路として性交渉が多いですが、HPVは血液や精液を介しては感染しません。HPVは接触感染によって体表面の微小な傷などから感染し、扁平上皮細胞の基底細胞内に留まります。

HPVは、子宮頸部だけでなく、扁平上皮がある身体の部位に感染して、例えば皮膚の疣贅(いぼ)、口腔・咽頭のがん、膣がん、陰茎がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどを生じます。男性に多いがんの中で、中咽頭がんは毎年約5,000人が発症し、その約半数にHPVが関与するとされています。また、食道がんは喫煙や飲酒の影響が大きいです。地域によって約10～40%にHPV感染が認められています。

男性もHPVワクチン接種を！

2020年12月から男性に4価HPVワクチン(ガーダシル)の接種が承認されましたが、一部の自治体にしか公費助成がなく、多くの場合、自己負担なのが難点です。もしHPVワクチン接種率が男女ともに60%に上がれば、国内のHPV感染を90%防止できると推測されています。女性への感染を防ぎ、自身の病気を予防するため、男性もHPVワクチンを接種しましょう！



医療法人 祥佑会

藤田胃腸科病院

〒569-0086 高槻市松原町17-36

TEL 072-671-5916

FAX 072-671-5919

健康 ♪ 外来

水曜日 14:00～17:00(要予約)

担当：中嶋